

麻生内閣の国民対話概要
～強く明るく これからの日本～

テーマ：道州制について

日 時： 平成 21 年 1 月 31 日(土) 13 時 30 分～15 時 00 分
場 所： 宇都宮市役所 本庁舎 14 階大会議室
出席閣僚： 鳩山 邦夫 総務大臣 道州制担当
司 会： 田村 秀 新潟大学大学院実務法学研究科教授
参加者数： 118 名

(会場からの主な意見)

- ・ 道州制になると格差が生じ、国家意識も低下するのではないか。
- ・ 国民は、快適で安全・安心な社会を国に求めており、それが将来も十分に保障される制度をつくることが国の役割だと考える。それを達成するための国のかたちを論じるべきである。
- ・ 国が基本法に関する立法を行うならば、道州はそれ以外の立法を行うことができると明確にするべきではないか。
- ・ 地制調の区割り例が出ているが、栃木に住んでいると、新潟と一緒にできるのか、埼玉は北関東なのか、など、いろいろ疑問に感じる部分がある。現在どのような区割りが議論されているのか。
- ・ 道州はこのような役割を担うので、道州という新たな区域においてもいきいきとした自治が可能なのだという議論を進めていただきたい。
- ・ 道州制の議論の際には、州都だけが栄えるのではなく、全体的に各地域が発展するような方策を採らないと、道州制に賛成する人はなかなか増えないのではないか。

以 上